

とうきょう すくわくプログラム実践報告書(八王子市)

施設名	八王子市立恩方保育園
-----	------------

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然

<テーマの設定理由>

・当園は、山々に囲まれ、園庭には野草スペースや四季を感じられる植栽があり自然に囲まれた環境である。日々、自由遊びの中で子ども達が自主的に自然物を取り入れる姿が見られる。さらなる興味関心を深め、自然遊びの楽しさを味わえるようこのテーマを設定した。

2. 活動スケジュール

夏 昆虫採集・観察・飼育・虫フェス（夏祭り） **秋** 葉っぱの調査・ブーケ作り・草木染
冬季 色々な氷を作ろう **通年** 天気の観察 虹チャンス（虹の発見） 植物を植える

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

デジタルカメラ、虫の飼育ケース、餌となるもの、顕微鏡、フェンス（野草スペースの環境を整える）、天気の図鑑、拡大鏡、観察ルーペ、グルーガン（ブーケ作り）、Tシャツまたはタオルなどの布（草木染）、すりこぎ、すり鉢、スポイト、試験管、トレー、ソリなど。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・おやつメニューがすいかの日に、絵本「すいかのたね」を見る。
- ・こども達からおやつに出たすいかの種をまいたら、絵本のようにすいかの実がなるのか試したいとの声があがり、プランターに種をまいてみる。
- ・実際にすいかの芽が出たことをきっかけに栽培、観察が始まる。
- ・すいかの葉が虫に食べられてしまっていることに気づき、保育者と虫よけのネットをかける。
- ・実がなった後、収穫する。中身の予想を立ててから、実を切って顕微鏡で観察をする。

＜活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり＞

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関り等)

- ・R7.7.3 おやつにすいかが出る。おやつの前に「すいかのたね」の絵本を保育者が読んだところ、おやつを食べている途中に、「このすいかの種をまいたら、さっき見た絵本みたいにすいかができるかな？」との声があり、プランターにすいかの種をまいてみる。



- ・R7.7.17 すいかの芽が出る。すいかの芽が出たことに気づき、「先生見て！」「芽が出てきたよ！」などと喜びの声がある。
- ・R7.8.9 すいかの実がなる。実にはすいかの縞模様ができていることに気づき、「ちゃんとすいかになった！」と喜ぶ姿がある。
- ・R7.9.18 暑さでしわしわになってしまう実がある。切って中身を見る前に中身はどうなっているかをこども達と一緒に予想をする。すいかの実を切って、顕微鏡で拡大してみる。実は青臭く、驚く児が多くいる。

【予想】赤くなっている、黒い種が多く詰まっている→【結果】中身は赤くなっていない、白い種が詰まっている



中身はどうなっているかな？



白い種がぎゅっと詰まっている！



すいかのにおいはしない！くさい！

- ・R7.10.6 7.17にまいたすいかの実がなる。
- ・R7.10.27 すいかの実がひび割れていることに子ども達が気づき、収穫をする。ひび割れたところにはアリが群がっており、「甘いからかな?」と想像する姿がある。



- ・R7.10.27 すいかのひび割れにアリが群がっていることに気づく。「うわぁ!すごい!」「アリがたくさん!」と驚きの声があがる。収穫し、中身はどうなっているか予想を立てる。

【予想】今度こそ赤くなっている、黒い種が多く詰まっている→【結果】中身は赤くなっている、種は白い



甘いにいい!

切ると中にもアリがびっしり・・・!

- ・R7.10.29 最後のすいかの実を収穫する。すいかの種を切り、断面を拡大顕微鏡で見てみる。この実も前回、収穫したものと同様に中身が赤くなっており、子ども達からは「ちゃんとすいかになったね!」と喜びの声があがる。また、「このすいかの種をまいたらすいかができるかな?」という意見が出て、プランターに種をまいてみるが、発芽することはなかった。子ども達は残念そうな表情を浮かべたが、「またおやつにすいかが出たときにやろう!」と、次年度に期待する姿が見られた。すいかの成長の様子を保育者が画用紙にまとめたものを見て、すいかができるまでの様子を振り返ることができた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

すいかの栽培はこども達の「やってみたい！」をきっかけに始まった。「やりたい！」気持ちをくみとってすぐに実行に移したことで、こども達が水やりや葉を食べてしまう虫の退治、観察に意欲的に取り組む姿が見られた。また、すいかの栽培を通して保育者も知らなかったことをこども達と一緒に調べ、学ぶ機会が多くあったが、学ぶことの楽しさを、身をもって実感することができた。今後もこども達のやりたい気持ちを受けとめ、それを実現できるような環境づくりを継続して行い、こども達と「楽しい！」を共有していきたい。